

第 5 次総合計画振り返り検証

特に重要な 3 施策抜粋資料

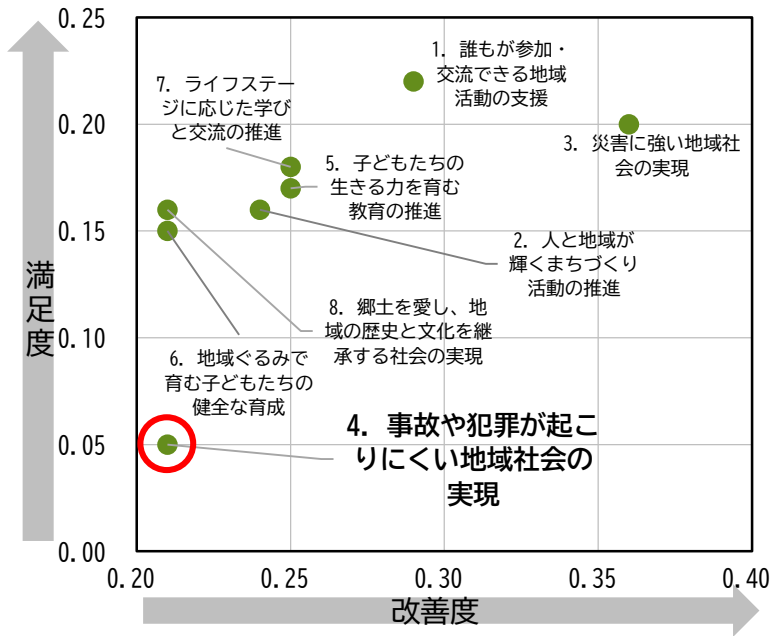
1. 事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現①

○施策「事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現」は町民意識調査の結果では、全29施策中、重要度が1位と重要視されているにもかかわらず、満足度は29施策中27位となっており、改善が必要な施策の一つとなっています。

○一方で、「粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか」の設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」と回答した方が54.8%となっており、令和元年度調査と比べ11.5ポイント上昇しています。

住民ニーズ（町民意識調査結果）

○満足度・改善度分布図

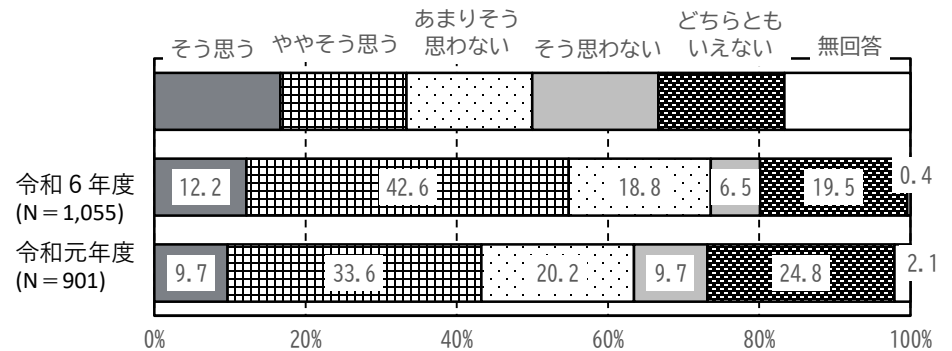


○満足度・重要度順位

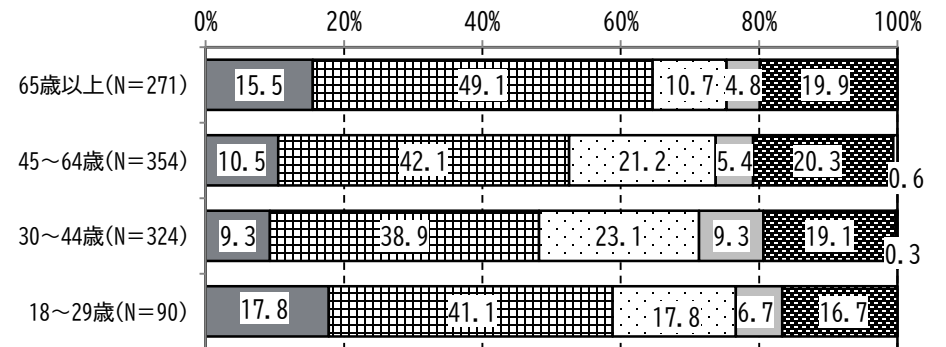
満足度	順位	重要度	順位
0.05 (加重平均)	27位/29施策	66.6 (%)	1位/29施策

【防犯】粕屋町は、事故や犯罪が少なく安全な町だと思いますか。

○前回（令和元年度調査）比較



○年齢別クロス集計

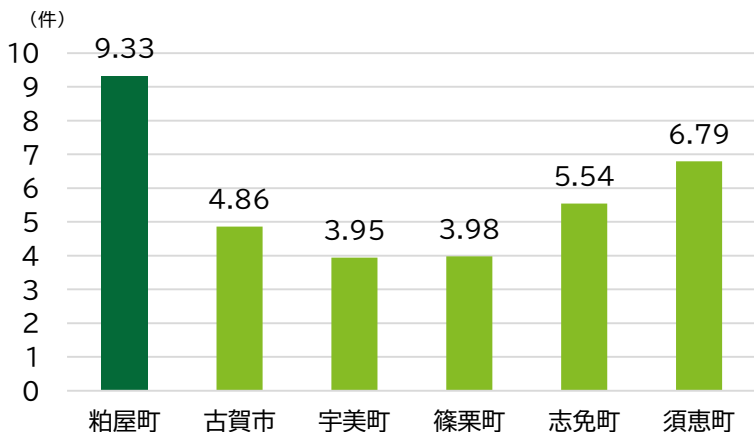


1. 事故や犯罪が起こりにくい地域社会の実現②

○近隣地区と比較して粕屋町の犯罪発生率は高いと考えられ、治安維持・防犯対策が課題となっています。
 ○しかしながら「事故や犯罪が少なく安全な町だと思ふ町民の割合」は令和元年度から上昇傾向にあり、今後も施策の推進に取り組んでいく必要があります。

基礎調査

○人口千人当たりの犯罪認知件数の比較(2023年)



○犯罪種別認知件数 (2023年)

✓ 犯罪認知件数の内訳は特に「自転車盗難」や「万引き」が多く、近隣地区と比較しても数値が大きく上回っている。

	空き巣	自転車盗難	車上ねらい	部品ねらい	万引き
粕屋町	7	180	7	6	72
志免町	7	39	5	6	52
須恵町	1	57	5	7	25
宇美町	2	52	2	2	8

出典：福岡県警察「福岡県刑法犯市区町村別認知件数」

現行計画振り返り検証

	指標種	指標名	単位	R1 (実績)	R6	R7 (見込)	R7 (目標)	見込評価	指標の分析結果
成果指標	実感指標	事故や犯罪が少なく安全な町だと思ふ町民の割合	%	43.3	54.8 (実績)		↗		●防犯灯設置や、交通安全啓発活動、青パトによるパトロールなど継続的に実施していることが要因の一つと思われる。
	客観指標	交通事故発生件数	件/年	380	276 (見込)	270	0~330	A	●令和6年9月末までにおいて、交通事故件数は前年比-9.9%の209件。通学路立ち番や、粕屋警察署・交通安全協会等との日々の取組により事故減少（前年比）しているものと思われる。
	客観指標	犯罪発生件数	件/年	379	620 (見込)	620	0~300	要検討	●令和6年9月末時点で469件と前年をすでに超過している状況。特にJR駅駐輪場などでの自転車盗難が大半を占めている。

○現状の施策実現の取組

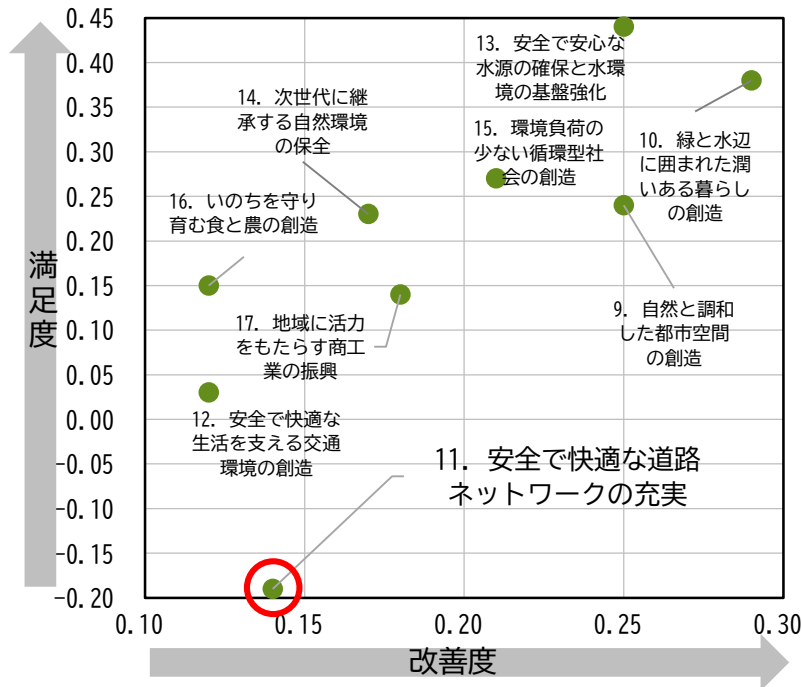
- ✓ 令和6年度は関係機関による通学路点検を実施。町内の通学路において危険な箇所などを洗い出し、対策を講じ安全な道路環境整備を実施した。
- ✓ 警察署と自動車学校が協力して開催しているドライビングコンテストにおいては、粕屋町からも高齢者を中心として多くの参加者（毎年十数名）を呼びかけ、運転者のスキルやマナーアップを図った。

2. 安全で快適な道路ネットワークの充実①

○施策「安全で快適な道路ネットワークの充実」は町民意識調査の結果では、全29施策中満足度が最も低く、また重要度も29施策中4位と高いため、改善が必要な施策の一つとなっています。

○「粕屋町では、円滑に通行できる道路網が整備されていると思いますか。」の設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」と回答した方が32.5%と全体の3分の1以下となっており、道路環境の改善が課題となっています。

○満足度・改善度分布図

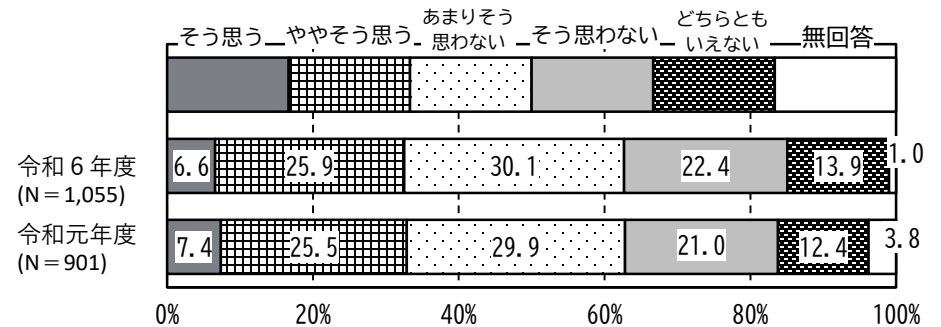


○満足度・重要度順位

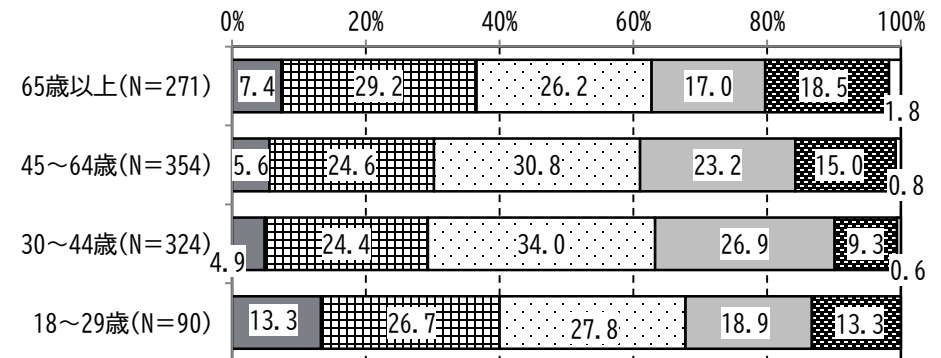
満足度	順位	重要度	順位
-0.19 (加重平均)	29位/29施策	53.2 (%)	4位/29施策

【道路】粕屋町では、円滑に車で通行できる道路網が整備されていると思いますか。

○前回（令和元年度調査）比較



○年齢別クロス集計

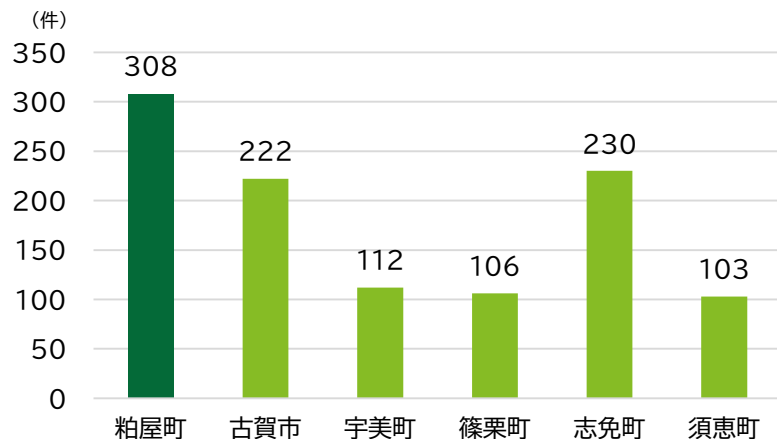


2. 安全で快適な道路ネットワークの充実②

○交通事故件数について粕屋町は308件で粕屋地域の中では最も多い反面、前年比では減少傾向が見受けられます。また主要地方道開通の取組により今後の交通渋滞の解消が期待できるため、引き続き施策の推進に取り組んでいく必要があります。

基礎調査

○交通事故発生件数の比較(2023年)



○事故の前年比較 (2023年)

✓ 交通事故発生数は比較的多いが、前年と比べ減少傾向となっている。

	発生件数合計	前年比増減数	重傷事故	前年比増減数	軽傷事故	前年比増減数
粕屋町	308	-15	2	-1	306	-13
志免町	230	+6	7	+2	222	+3
須恵町	103	+8	2	-1	100	+8
宇美町	112	+4	2	-2	110	+6

出典：福岡県警察「交通事故統計」

現行計画振り返り検証

	指標種	指標名	単位	R1 (実績)	R6	R7 (見込)	R7 (目標)	見込評価	指標の分析結果
成果指標	実感指標	道路が円滑に通行できると思う町民の割合	%	32.9	32.5 (実績)		↗		●今後も安全で快適な道路環境を維持するため、道路パトロールによる危険箇所の維持補修や道路改良に努める。
	客観指標	歩道設置道路の総延長	m	45,325	46,300 (見込)	46,400	47,000	C	●道路改良工事等により微増と見込まれ、R7目標値は達成できない見込み。

○現状の施策実現の取組

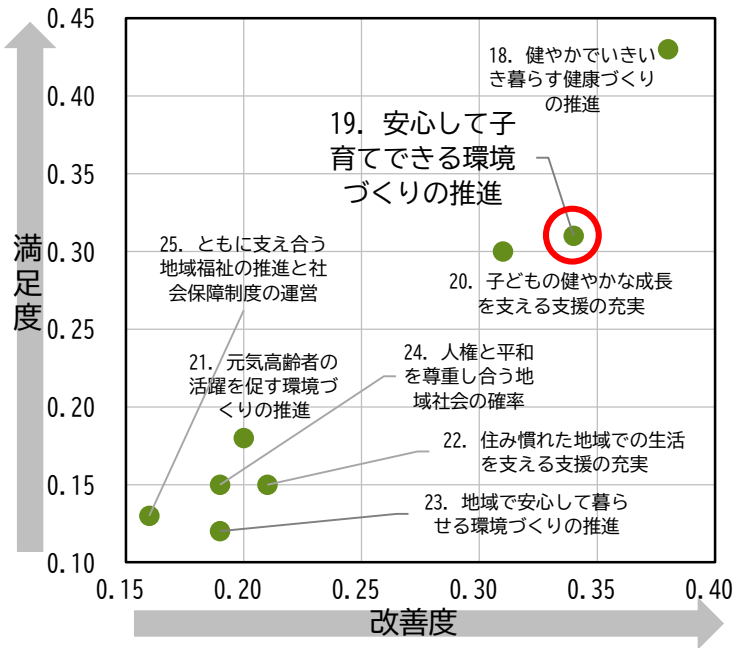
- ✓ 令和5年4月の主要地方道「筑紫野古賀線バイパス（須恵・粕屋2工区）」開通により、門松交差点の交通渋滞が解消された。また、都市間幹線道路となる東環状線、粕屋久山線は事業継続中であり、将来完成後には生活道路における通過交通の減少や交通渋滞の緩和が大いに期待できる。
- ✓ 道路パトロールによる危険箇所の把握や住民からのLINE 損傷報告に対して、迅速に補修工事を行い、安全な道路環境が保たれている。また、通学路合同点検や行政区要望に基づき交通安全施設の整備を実施した。

3. 安心して子育てできる環境づくりの推進①

○施策「安心して子育てできる環境づくりの推進」は町民意識調査の結果では、満足度が全29施策中4位と高く、重要度も全29施策中5位と高いが、町民の関心も高い分野であり今後強化すべき施策となります。

○「粕屋町では、子育ての環境が整っていると思いますか。」の設問に対し、「そう思う」と「ややそう思う」と回答した方が49.4%となっており、令和元年度調査と比べ5.0ポイント上昇しています。

○満足度・改善度分布図

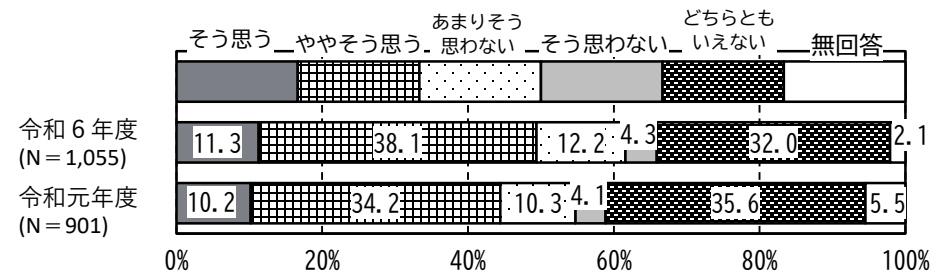


○満足度・重要度順位

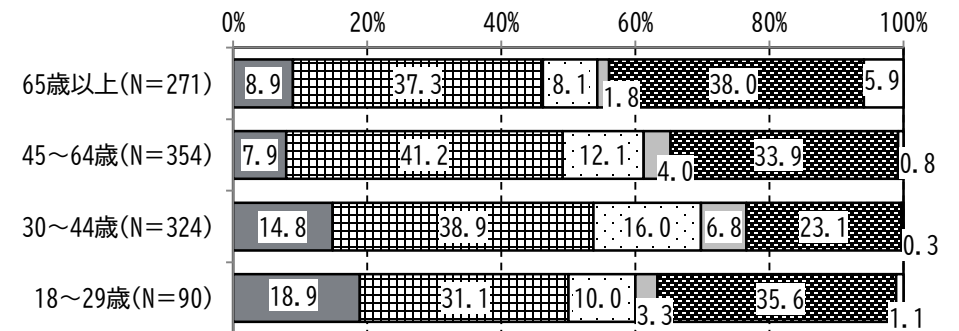
満足度	順位	重要度	順位
0.31 (加重平均)	4位/29施策	52.9 (%)	5位/29施策

【子育て】粕屋町では、子育ての環境が整っていると思いますか。

○前回（令和元年度調査）比較

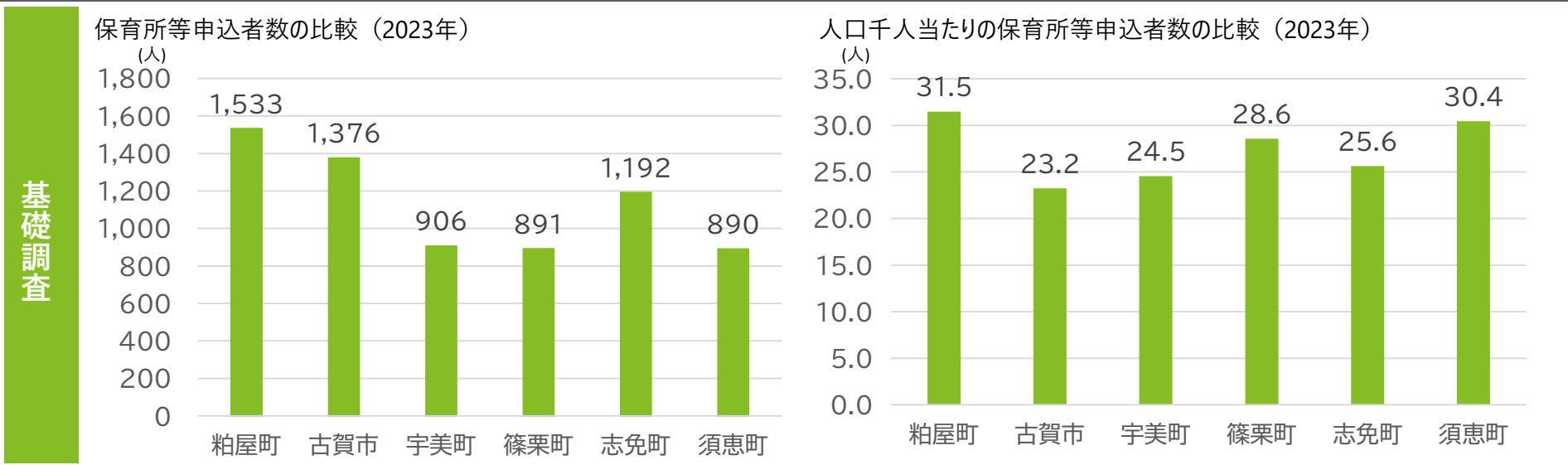


○年齢別クロス集計



3. 安心して子育てできる環境づくりの推進②

○粕屋町における保育所等申込者数は1,533人、人口千人あたりでは31.5人と近隣市町と比較して最も保育需要が高いことがわかります。
 ○基礎調査結果にはありませんが、国定義の待機児童数は、令和元年度以降から減少、令和4年度からは0となっています。しかしながら、保育需要は依然として高いため、今後も安心して子育てできる環境づくりの推進に取り組んでいく必要があります。



	指標種	指標名	単位	R1 (実績)	R6	R7 (見込)	R7 (目標)	見込評価	指標の分析結果
	成果指標	実感指標	子育て環境が整っていると思う町民の割合	%	44.4	49.4 (実績)		↗	達成
客観指標		かすやこども館延べ来館者数	人/年	45,754	44,000 (見込)	46,000	56,000	要検討	●平成30年度来館者数は5万人を超えていたが、令和元年3月以降コロナ禍での休館や入場制限等が令和5年度5月上旬まで続いた。その後はコロナ前の来館者数に戻りつつあるが、目標値の達成は難しい。

○現状の施策実現の取組

✓ 私立・町外保育施設への運営支援、認可外保育施設・私立幼稚園利用者への支援を適正に行った。また、様々な子育て支援事業を行う認可保育所に対し補助を行うことにより、充実した保育環境の整備に努めた結果、実感指数は上昇している。